

2023年5月10日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号: 4582)
問合せ先 管理本部 IR 室 (TEL.03-5472-1125)

**オンコノバ社、大阪で開催されたISID表皮水疱症国際シンポジウムにおいて
扁平上皮癌におけるリゴセルチブ単剤療法を評価する臨床試験の概要を発表**

シンバイオ製薬株式会社（本社：東京都、以下「シンバイオ」）は、抗がん剤リゴセルチブナトリウム（以下「リゴセルチブ」）のライセンサーである Onconova Therapeutics, Inc.（本社：米国ペンシルベニア州、以下「オンコノバ社」）が、2023年5月9日（日本時間）に大阪で開催されたISID（国際研究皮膚科学会）表皮水疱症国際シンポジウムにおいて、劣性栄養障害型表皮水疱症（RDEB）関連の扁平上皮癌（SCC）に対するリゴセルチブ単剤療法を評価する医師主導臨床試験の概要を発表したことをお知らせいたします。

オンコノバ社は、RDEB関連SCCにおけるリゴセルチブの承認に向けた最も迅速な道筋を決定するため、規制当局とこれらの調査結果について検討する予定です。

オンコノバ社の発表内容の詳細につきましては、同社のホームページをご覧ください。
<https://investor.onconova.com/press-releases>

以上

【リゴセルチブについて】

リゴセルチブは、がん関連遺伝子産物であるRasの作用を阻害し、PI3Kなど複数のキナーゼ（リン酸化酵素）の作用を妨げることにより、がんの生存や増殖に必要な複数の細胞内シグナルの伝達を抑制し、がん細胞を死滅させる新たな作用機序を有する低分子の抗がん剤です。

シンバイオは、2011年7月にオンコノバ社との間でライセンス契約を締結し、リゴセルチブの日本及び韓国における独占的開発権及び販売権を取得しております。

【オンコノバ社会社概要】

米国ペンシルベニア州及びニュージャージー州に拠点を置く、バイオ医薬品に特化した製薬企業です。1998年の同社設立時より、がん治療並びに正常細胞の保護に注力し、自社の所有する125以上の新規化学療法薬候補からなる医薬品化学ライブラリーを基に、新規の分子・生物学的治療を目的とした低分子治療薬を発見、最適化してきました。同社は、リゴセルチブの全世界における開発・販売権を保有しております。同社の詳細についてはウェブサイト (<http://www.onconova.com/>) をご覧下さい。

【当社会社概要】

シンバイオ製薬株式会社は、米国アムジェン社元副社長で、旧アムジェン株式会社の実質的な創業者である吉田文紀が2005年3月に設立した医薬品企業です。経営理念は「共創・共生」（共に創り、共に生きる）で表され、患者さんを中心として医師、科学者、行政、資本提供者を「共創・共生」の経営理念で結び、満たされない医療ニーズに応じてゆくことにより、社会的責任及び経営責任を果たすことを事業目的としています。なお、2016年5月に米国完全子会社 SymBio Pharma USA, Inc.（本社：米国ノースカロライナ州 ダーラム、社長：キャロリン・ヤナビッチ）を設立しました。